

第39回 全国健康福祉祭 東京大会
ねんりんピックChōju東京2028

基本構想



目次

01	はじめに	1
02	基本方針	2
03	大会目標	3
04	大会概要	5
05	実施概要	7
06	大会準備運営体制	11
07	今後のスケジュール	12

はじめに

- 全国健康福祉祭（ねんりんピック）は「ふれあいと活力ある長寿社会の形成」に寄与するため、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図る大会であり、厚生労働省及び開催都道府県等が主催し、昭和63年から開催されている大会です。
- 令和10年度のねんりんピックは東京都で開催されます。本大会が東京都で開催されるのは初となります。

基本方針

我が国は世界でも類を見ない速さで高齢化が進行し、2050年には3人に1人が65歳以上となる「超超高齢社会」を迎えます。こうした中で、誰もが、いくつになっても生き生きと地域や社会で活躍し続けるためには、年齢を重ねることをポジティブに捉え、高齢者の可能性を拓き、前向きで新しい「高齢者の未来像」を示していくことが重要です。

第39回全国健康福祉祭東京大会は、東京が持つ様々な強みを活かし、誰もがいつまでも輝ける真の成熟都市、世界に誇る長寿（Chōju）社会の実現に向けて、次の目標を掲げて開催します。

大会目標

① 心身の健康について見直すきっかけとなる大会

大会に参加する全ての人々が、健やかで心豊かに生きることの大切さを学び、生涯を通じて、健康づくりやフレイル予防、趣味や余暇の充実、就労等に取り組むきっかけを得られるような大会とします。

② 人と人とのつながりを創出する大会

スポーツや文化等を通じて、企業や団体、地域など様々な主体の参画のもと、子供から高齢者まで幅広い世代が交わることで新たなコミュニティが構築され、つながりを実感できる大会とします。

③ デジタル技術や先端技術の可能性を実感できる大会

スタートアップ企業をはじめ、多様な業種・分野の企業が集積する東京の強みを活かし、QOLやウェルビーイングの向上につながる様々な技術に接し、その可能性を実感できる大会とします。

④ 東京ならではの多彩な魅力を味わうことができる大会

世界有数の健康長寿都市である東京には、連綿と受け継がれてきた伝統、芸術文化や歴史、豊かな自然などの様々な魅力があります。こうした価値を広く国内外に発信し、誰もが楽しめる大会とします。

⑤ 東京2020大会、世界陸上、デフリンピック等のレガシーを未来へつなぐ大会

世界有数の国際大会の開催を通じて培われた経験やレガシーを生かし、障害の有無や年齢、性別等を問わず、あらゆる人がスポーツや芸術文化を楽しめる環境を構築することで、持続可能な社会の実現と東京の一層の発展につながる大会とします。



大会概要

名 称 第39回全国健康福祉祭東京大会

愛 称 ねんりんピックChōju東京2028

主 催 厚生労働省、東京都、一般財団法人長寿社会開発センター

共 催 スポーツ庁

会 期 2028（令和10）年11月3日（金）～6日（月）

テーマ 咲かせよう 未来へ続く 江戸の華



参加予定人数 延べ約70万人（観客含む）

シンボルマーク
（全国共通）



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会をふたりの人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

マスコットキャラクター

東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

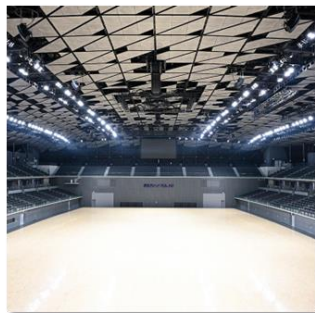
○ゆりーとのねんりんピックデザインについて

江戸紫と和柄模様といった江戸を感じられる要素や、東京都の花である桜(ソメイヨシノ)を装飾することで、東京らしさを表現しています。



実施概要

○総合開会式 京王アリーナTOKYO



総合閉会式 東京国際フォーラム



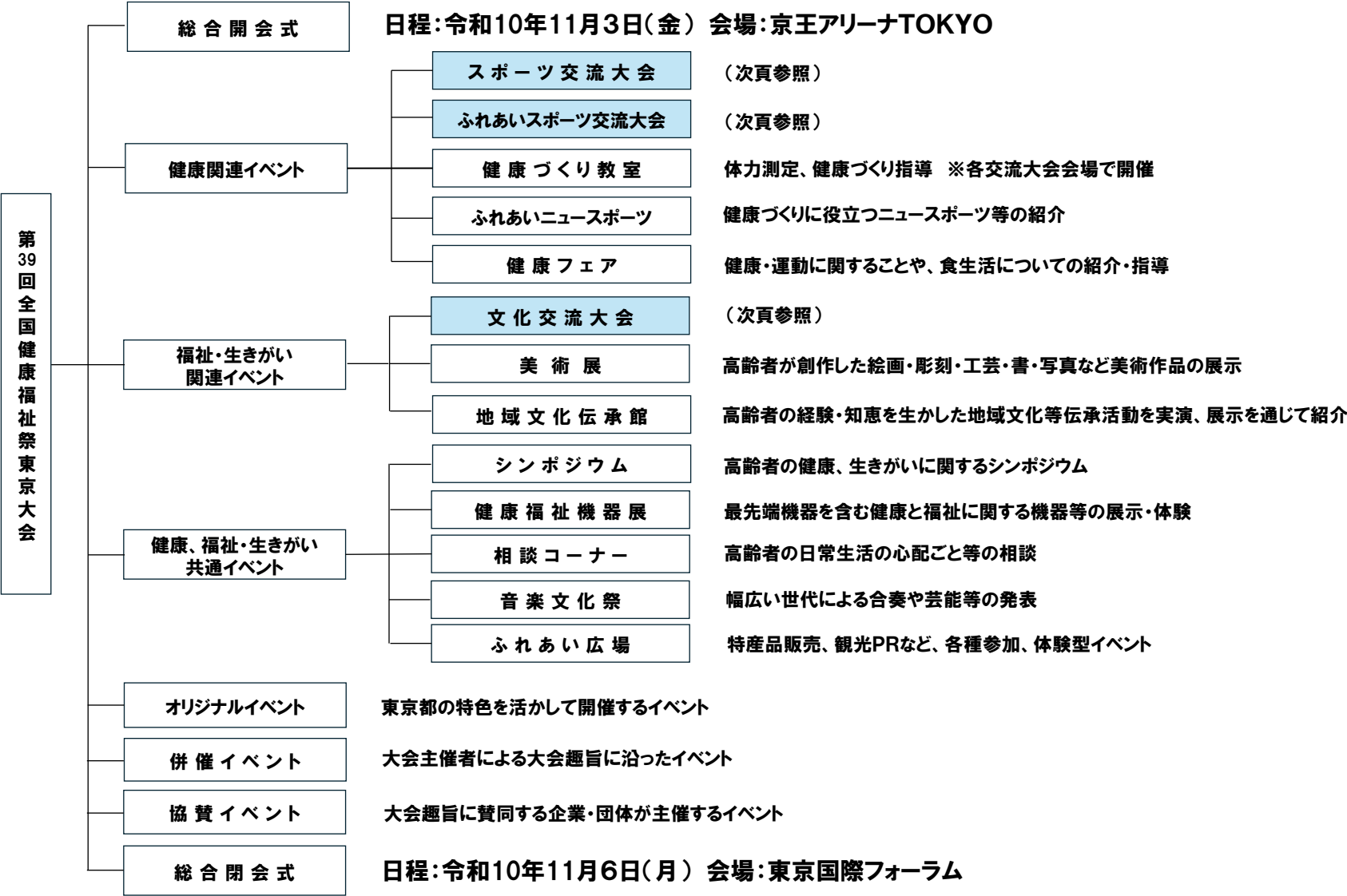
© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO. LTD.

- 「**スポーツ交流大会**」（既定の10種目）、「**ふれあいスポーツ交流大会**」（誰もが親しみやすい種目を中心）、「**文化交流大会**」（将棋や健康マージャン、カラオケなど）を実施（**36種目・38自治体**）
このほか、様々な協賛イベントを実施し、**東京都全体で気運を醸成**



○美術展や音楽文化祭等の文化イベントも開催

事業体系図



交流大会の実施区市町村

スポーツ交流大会

種 目		会場地
1	卓球	墨田区
2	テニス	江東区
3	ソフトテニス	世田谷区
4	ソフトボール	八王子市 あきる野市
5	ゲートボール	大田区
6	ペタンク	瑞穂町
7	ゴルフ	青梅市
8	マラソン	福生市
9	弓道	渋谷区
10	剣道	新宿区

ふれあいスポーツ交流大会

種 目		会場地
1	グラウンド・ゴルフ	府中市
2	太極拳	目黒区
3	サッカー	文京区・北区 調布市・清瀬市
4	ソフトバレーボール	品川区
5	ウォークラリー	足立区
6	水泳	練馬区
7	なぎなた	港区
8	ダンススポーツ	立川市
9	インディアカ	葛飾区
10	バウンドテニス	小平市
11	サイクリング	大島町
12	スポーツウエルネス吹矢	多摩市
13	ビーチボール	台東区
14	パドルテニス	中野区
15	e スポーツ	西東京市
16	サーフィン	新島村
17	空手	日野市
18	ウォーキング	板橋区
19	ローラースケート	江戸川区
20	ユニカール	町田市

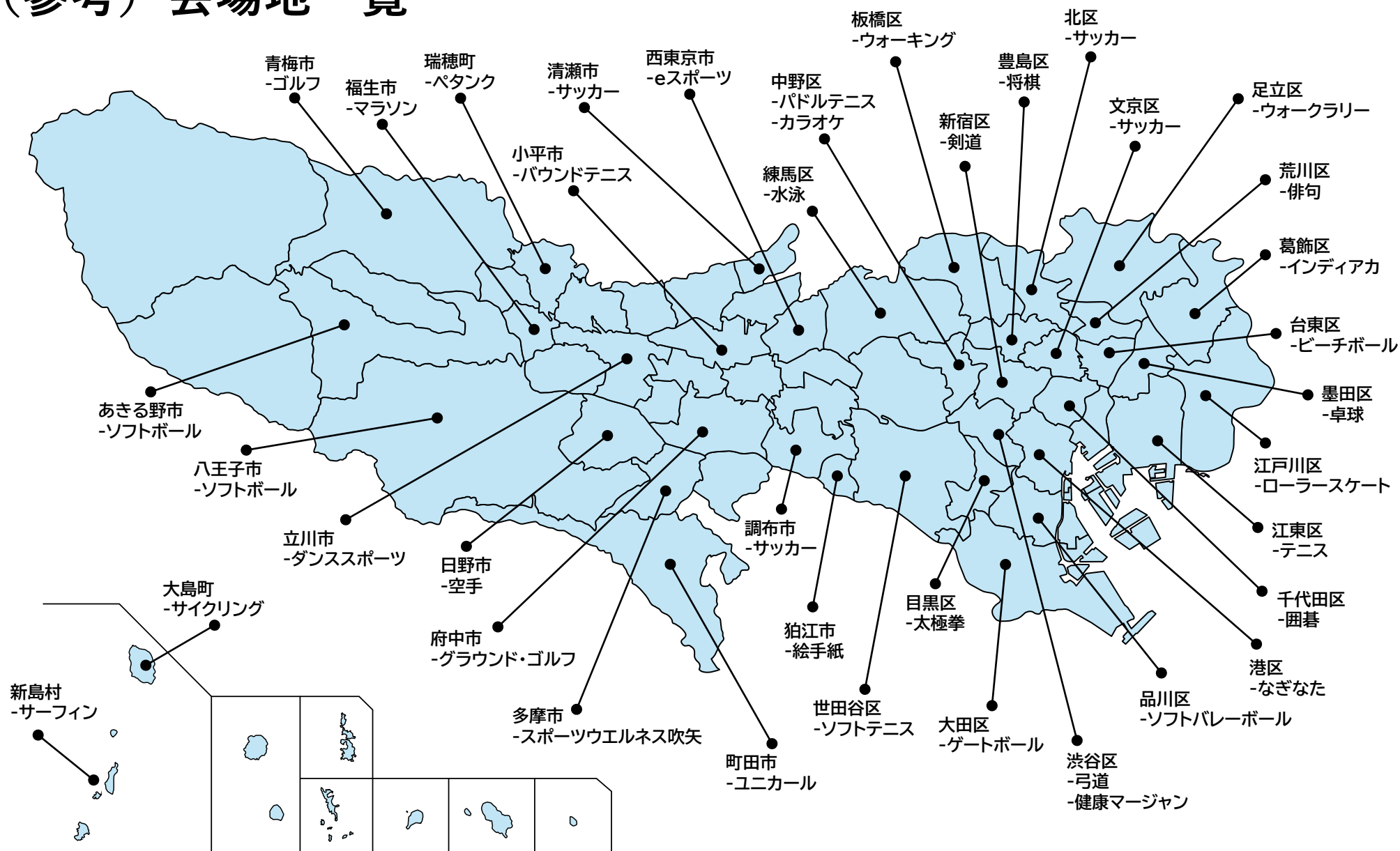
文化交流大会

種 目		会場地
1	囲碁	千代田区
2	将棋	豊島区
3	俳句	荒川区
4	健康マージャン	渋谷区
5	カラオケ	中野区
6	絵手紙	狛江市

※**太字**の種目は
東京大会で初めて開催

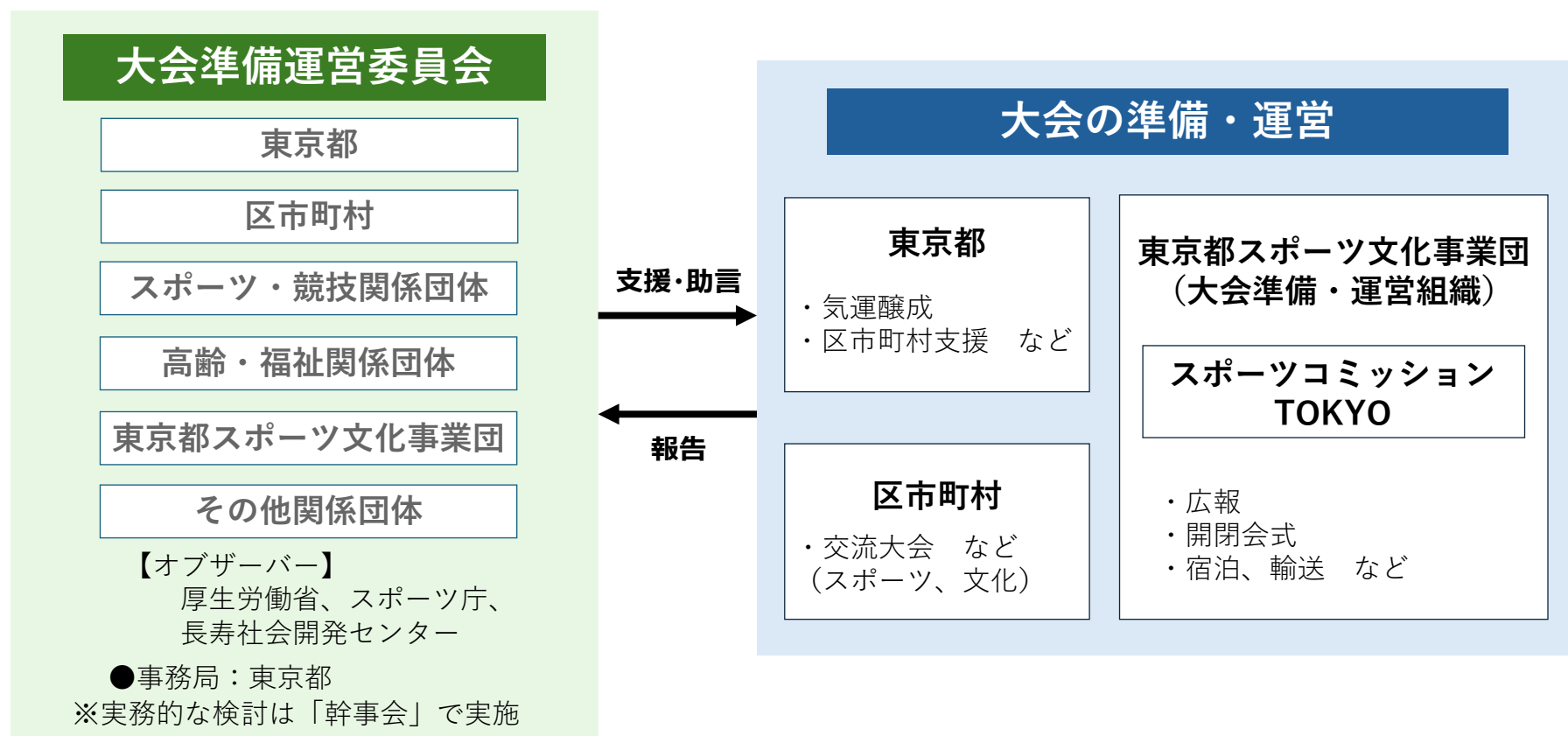
計	36種目	38自治体
---	------	-------

(参考) 会場地一覧



大会準備運営体制

- 大会の準備・運営について、関係者で情報共有、調整・協議し、必要な支援・助言を行う場として、各関係団体で構成する大会準備運営委員会を設置
- 宿泊輸送や開閉会式等の準備・運営実務は、デフリンピックのノウハウを継承し東京都スポーツ文化事業団に設置されるスポーツコミッションT O K Y Oが主管



今後のスケジュール

令和10年度の開催に向け、関係者と連携して計画準備を進めるとともに、大会気運の醸成を図っていく。

	2025 (令和7年度)	2026 (令和8年度)	2027 (令和9年度)	2028 (令和10年度)
フェーズ	基礎	計画立案・準備		大会運営
今後の大会	● 岐阜大会	● 埼玉大会		★ 東京大会
大会計画 ・準備	基本構想	基本計画	実施計画	
	●素案公表 ●公表	●大会準備・運営組織設置（東京都スポーツ文化事業団） ●大会準備運営委員会設立（東京都）	●区市町村実行委員会設立	●実施本部 立上げ
	大会気運の醸成			

